



# 「よりよい人間関係や生活をつくり、 自己のよさを生かす特別活動」

会長 秋山 美栄子 (目黒区立下目黒小学校長)

特別活動は、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の3つの視点を手がかりとし、「集団や社会の形成者としての見方・考え方」を働かせながら、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、生活上の課題を解決していく教育活動です。現行学習指導要領が求めている「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする」ための中核となる領域が、正に、特別活動ではないでしょうか。

本会は、今年度創立60周年を迎えました。創立当初より、「なすことによって学ぶ」を方法原理とする特別活動の重要性を深く認識し、東京都の特別活動を推進するという気概をもって研究に取り組んでまいりました。この数年は、GIGAスクール構想の進展やコロナ禍等、学校を取り巻く状況が大きく変化していますが、我々教師も「なすことによって学ぶ」を体現するよう、今できる工夫を精一杯行おうと、授業実践や研究活動に取り組んでいます。

今年度は、標記の研究主題で取り組む3年目の研究となります。学級活動部、児童会活動部、クラブ活動部、学校行事部の4部が、共通の研究の視点に沿って手だてを考え、授業実践を通して検証していきます。年度末には、その成果等を報告する研究発表大会を開催する予定です。多くの先生方にご参会いただければと存じます。今年度もよろしくお願いたします。

## 都小特活

第111号

東京都小学校  
特別活動研究会

令和4年9月発行

発行人  
秋山 美栄子

### ○研究発表会

- ・期 日 令和5年2月24日(金)
- ・場 所 目黒区中小企業センターホール (区民センターホール)  
(JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営三田線  
目黒駅下車 12分)
- ・内 容 今年度の研究についての発表  
講演 文部科学省初等中等教育局  
視学官 安部 恭子 先生

今年度も都小特活ではホームページの充実を進めています。研究授業等の予定や急な変更などもお知らせしていますので、是非ご活用ください。

都小特活 検索

## 令和4年度 研究の基調

研究部長 平松 隆行 (板橋区立若木小学校長)

### 1 研究主題

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

### 2 主題設定の背景及び理由

特別活動において育成を目指す資質・能力は、3つの視点である「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を手がかりとしながら育むことが求められている。そして、その3つの視点は切り離せない相互関係にある。

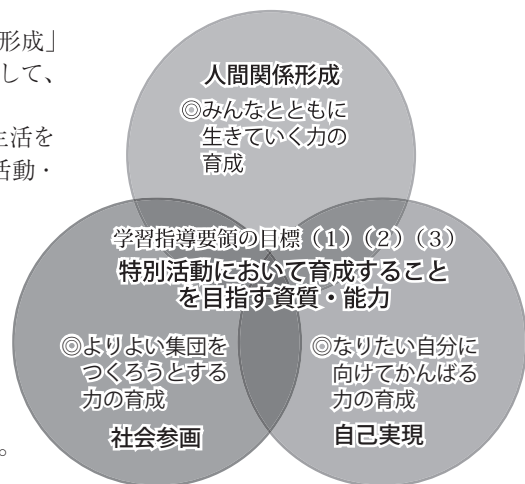
そこで、本研究会では、令和2年度より研究主題を「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」とし、3つの視点を関連させながら、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事において研究を深めている。

令和3年度は、各部の研究主題をそろえた上で研究仮説をたて、そのための手だてを3つの視点に関連させ、整理した。

令和4年度は、理論・仮説検証の2年目にあたり、一層具体的な手だてについて研究を深めていく。

### 3 研究計画

- ①令和元年度…仮説に基づく授業実践
  - 各活動、学校行事における「自己実現」を明確にし、共通理解を図る。
  - 各活動、学校行事における学習過程(課題解決)を構築する。
- ②令和2年度…理論構築
  - 1年目の研究を踏まえ3つの視点を関連付け、育成する資質・能力について共通理解を図る。
- ③令和3年度…理論・仮説の検証(1年目)
  - 理論・仮説の検証のための授業実践ならびに汎用性・再現性の追究
- ④令和4年度…理論・仮説の検証(2年目)
  - 理論・仮説の検証のための授業実践ならびに汎用性・再現性の追究
- ⑤令和5年度…汎用性・再現性のある提案



## 学級活動部

部長 高橋 美衣 (中央区立月島第二小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、  
自己のよさを生かす学級活動」

### 1 主題設定の理由

学習指導要領の解説には、学級活動は「学級生活の充実と向上を目指し、他者と協力したり、個人として努力したりしながら、自主的・実践的に取り組むことにより、活動することの楽しさや成就感・達成感を得たり、自己有用感を高めたりすることにつながるものである。」とある。今回の学習指導要領では、特別活動がこれまで教育課程上果たしてきた役割を踏まえて、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つを視点としつつ、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に沿って、資質・能力が整理されている。

本研究会の主題である「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」を受け、学級活動部では、「自己のよさを生かす」とは、自分の興味のあることや自信のあることが分かること、自分の興味があることや自信のあることを行い、友達や学級に貢献すること、また、自分の思いや願いを叶えられること、学級の中に自分の居場所や役割があることと捉えた。

学級活動においては、学級という集団の中で、様々な問題を自分たちで見付け、解決方法について話し合い、合意形成を図る。そして、合意形成したことをもとに実践し、解決につなげていく中で、自他のよさや可能性を広げたり、活動することへの達成感や充実感を得たり、自己有用感を感じたりすることができる。

そして、その経験の積み重ねが生涯にわたって、集団や社会の一員として、また社会の形成者として、たくましく生き抜く資質や能力へとつながる。

主題を設定して3年目となる今年度は、学級活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を捉え直し、本時の活動(解決方法の話し合い・解決方法の決定)における児童の言動を具体的に価値付けていくとともに、また、評価規準を見直し、指導の充実や指導と評価の一体化を図っていく。

### 2 研究の視点

視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫(人間関係形成)

視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫(社会参画)

視点③ なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫(自己実現)

### 3 検証授業の予定

○ 9月27日(火) 日野市立日野第五小学校

学級活動(1) 岸野 航太 教諭(6年)

○ 10月28日(金) 西東京市立保谷小学校

学級活動(1) 小山 晴美 主任教諭(1年)

## 児童会活動部

部長 畑 理恵 (世田谷区立芦花小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、  
自己のよさを生かす児童会活動」

### 1 主題設定の理由

全体研究主題「よりよい人間関係や生活をつくり自己のよさを生かす特別活動」を受け、児童会活動部では「児童会活動における『人間関係形成』『社会参画(自己有用感)』『自己実現』とは何かを考えた。そこで、本部会では以下のように定義した。

#### 人間関係形成

よりよい人間関係を築くために、児童会活動では「上級生は下級生に対して思いやりの気持ちをもって接し、下級生は上級生にあこがれの気持ちを抱いて協力できる」ような、異年齢集団活動を通して、他の学年との人間関係を豊かに形成する力を付けることが必要であると考えた。このことは、児童の発意・発想を生かした活動に参画していくことで身に付けていくことができる。

#### 社会参画(自己有用感)

「『自分は必要とされている』『自分は役に立っている』と思える感情」と定義し、それは他者に認められてはじめて得られるものであると考えた。このことは、上述の「人間関係」を豊かにすることと関連が深い。

#### 自己実現

異年齢交流活動の中で、『自分のなりたい姿』を目指して、全校のみんなのために、その活動の目的や意義を達成していくこと」と捉えた。このことは、上述の「社会参画」していく活動を通して、実現していくものと考えた。

本主題を設定して3年目となる今年度は、令和3年度に振り返った児童会活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識して指導し、目指す児童像の達成を目指す。また、評価規準を見直し、指導の充実や、指導と評価の一体化を図っていく。また、年度当初のオリエンテーション等を通して、以下のことに留意することとした。

○ 「児童の発意・発想を生かした活動」の場を保障する。

○ 「課題の発見」から「振り返り」までの活動を一連の活動(学習過程)としてとらえる。

○ 児童会の特質である「異年齢の人間関係」に焦点を当てる。

### 2 研究の視点

視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫(人間関係形成)

視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫(社会参画)

視点③ なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫(自己実現)

### 3 検証授業の予定

○ 10月21日(金) 江戸川区立春江小学校

集会委員会 星野 俊明 教諭

鈴木 敬太 主任教諭

○ 11月 2日(水) 立川市立上砂川小学校

代表委員会 久良木 優有 教諭

### クラブ活動部

部長 矢部 聡 (世田谷区立尾山台小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、  
自己のよさを生かすクラブ活動」

#### 1 主題設定の理由

クラブ活動は、異年齢集団活動の楽しさを味わい、自分たちの手で活動を作り出すための方法の理解、人間関係をよりよく構築していくための相手を意識した思考力、多様な仲間の個性を受け入れ助け合ったり協力し合ったりして、よりよい人間関係を築こうとする態度といった、資質・能力を育てることができる考える。

また、自他のよさや頑張りに気付く中で、異年齢の人間関係を育み、自分たちのクラブ活動をよりよくするための課題に気づき、その課題を解決しながら、自分のよさや可能性を将来にわたって追求しようとする態度を育む。これらの一連の活動の中では、自己肯定感や自己有用感の高まりが期待できる。

昨年度は新たな手だてとして、「パワーアップカード」を活用し、計画、活動、振り返り、成果の発表のそれぞれの児童の様子について、記録したものを随時可視化していくことで、回を重ねるごとに自分たちの頑張ってきたことや成長を実感することにつなげることができた。また、見

童間のよいところ見付けにも生かされた。司会グループがより意欲的に活動を進めたり、異年齢小グループでの活動中の交流が深まったりした。

本主題を設定して3年目となる今年度は、毎時間及び年間の活動がよりよく展開されるよう指導の充実を図り、〇〇クラブの目標を決める際に「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」との整合性をとって指導していく。また、パワーアップカードの活用についての研究を深めるとともに、ICTの活用についての研究も深めていく。

#### 2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)
- 視点③ になりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)

#### 3 検証授業の予定

- 11月21日(月) 足立区立保木間小学校  
ドッジボールクラブ 高畠 誠 教諭
- 11月28日(月) 世田谷区立尾山台小学校  
バドミントンクラブ 矢部 聡 主任教諭

### 学校行事部

部長 竹田 桃子 (練馬区立上石神井北小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、  
自己のよさを生かす学校行事」

#### 1 主題設定の理由

学校行事には、みんなで力を合わせて、集団の力やよさをより高め、自分や集団の成長を実感できる場が多くある。それらを実現する児童の育成を目指すために、まずは児童が今の自分を理解することが大切である。学級や学年、学校という集団の中で今の自分にできることを考え、めあてをもって行事に取り組んでいく中で、自分の役割を果たしたり、よさを見付け合ったりして、新たな自分に気づき、新たな可能性を見出すことができる。一つの行事を通して得られる達成感や充実感によってさらなる高みを目指したいという自信や希望につなげることができる。

今年度は本研究主題での3年目で、研究授業による理論・仮説の検証は2年目である。これまでの研究で取り組んできた行事をつなぎ、身に付けた力を次の活動へと生かしていく過程を大切にしながら、「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」を相互に関連付けて実践し、目指す児童像と学校行事で育成する資質・能力を明らかにしていく。

#### 目指す児童像

- ・自分や友達よさを認め合える児童 (人間関係形成)
- ・自分の役割の意義に気づき、仲間と共に活動する児童 (社会参画)
- ・自分のよさに気付くだけでなく、自分の可能性を広げ生かそうとする児童 (自己実現)

#### 2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)
- 視点③ になりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)

#### 3 検証授業の予定

- 10月18日(火) 世田谷区立多聞小学校  
学級活動(3) 運動会事後指導 (2年)  
伊藤 優 主任教諭
- 12月2日(金) 世田谷区立若林小学校  
学級活動(3) 音楽会事後指導 (3年)  
伊勢 祐美子 主任教諭

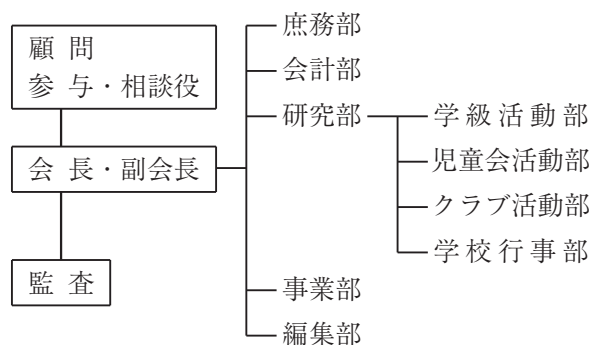


# 令和4年度 役員・部員名簿

◎校長 ○副校長 ◇主幹教諭 ◆指導教諭 □主任教諭

役職名	氏名	地区・校名	役職名	氏名	地区・校名
会長	秋山 美栄子	◎目黒・下目黒	研究部 副部長	宮内 有加	◆中央・明石
副会長	石田 孝士	◎世田谷・芦花	〃	大野 和代	□足立・千寿第八
〃	出町 桜一郎	◎国分寺・第四	〃 部員	中嶋 規子	◆世田谷・経堂
〃	橋本 弥記	◎国分寺・第五	〃	佐藤 真美	◇小平・小平第十二
周年担当部長	神谷 なおみ	◎江東・第一大島	事業部 部長	酒井 敬子	◎大田・おなづか
庶務部 部長	笹間 伸也	◎大田・羽田	〃 副部長	森嶋 正行	◎府中・府中第五
〃 副部長	中村 和弘	◎江東・豊洲	〃	佐藤 千晴	○国分寺・第一
〃	細井 鏡子	◎大田・北糀谷	〃 部員	梶井 綾	□目黒・八雲
〃	中野 浩一	◎町田・鶴川第一	〃	兼古 勇佑	□江東・有明西学園
〃 部員	吉田 和子	□江東・毛利	〃	原田 恵子	□北・西浮間
〃	鬼木 雅人	□東久留米・第二	〃	井村 絵里子	国分寺・第二
会計部 部長	吉田 有子	◎清瀬・清瀬第七	〃	佐藤 麻美	豊島・高松
〃 副部長	田所 貴美子	○中野・桃園第二	編集部 部長	関 拓也	◎品川・延山
会計(学級活動)	奥山 優子	□中央・月島第三	〃 副部長	鈴木 悟史	○多摩・南鶴牧
会計(児童会)	山野 奈央子	□世田谷・玉川	〃 部員	藤井 美貴子	□渋谷・上原
会計(クラブ)	山口 哲郎	葛飾・本田	〃	伊勢 祐美子	□世田谷・若林
会計(学校行事)	檜山 真理子	□北・西浮間	〃	関田 裕子	□世田谷・松原
研究部 部長	平松 隆行	◎板橋・若木	〃	酒井 博子	東久留米・第六
〃 副部長	田村 亜紀子	◎練馬・大泉南	学級活動部長	高橋 美衣	◇中央・月島第二
〃	佐藤 美德	○府中・府中第二	児童会活動部長	畑 理恵	□世田谷・芦花
〃	藤田 寛樹	○新島・新島	クラブ活動部長	矢部 聡	□世田谷・尾山台
〃	高橋 信行	◇足立・千寿第八	学校行事部長	竹田 桃子	練馬・上石神井北
〃	大藏 久美	◆小平・小平第六	会計監査	赤羽根 智	◎東久留米・本村
〃	渋井 洋子	◆東久留米・神宝	〃	木田 明男	◎小平・小平第三

## [組織図]



## 編 集 後 記

会報111号をお届けします。  
校務ご多用のところ、ご協力いただき  
ありがとうございました。

(関、鈴木(悟)、藤井、伊勢、関田、酒井(博))

